

七十三年
聖徒伝 228

主の恵みの あるうちに

エレミヤ書 7章

強盗の巢なる神殿 天の女王

アウトライン

0. イントロダクション

I. 強盗の巢なる神殿 7:1~15

II. 怒りを招く天の女王 7:16~34

III. まとめと適用

主の恵みのあるうちに

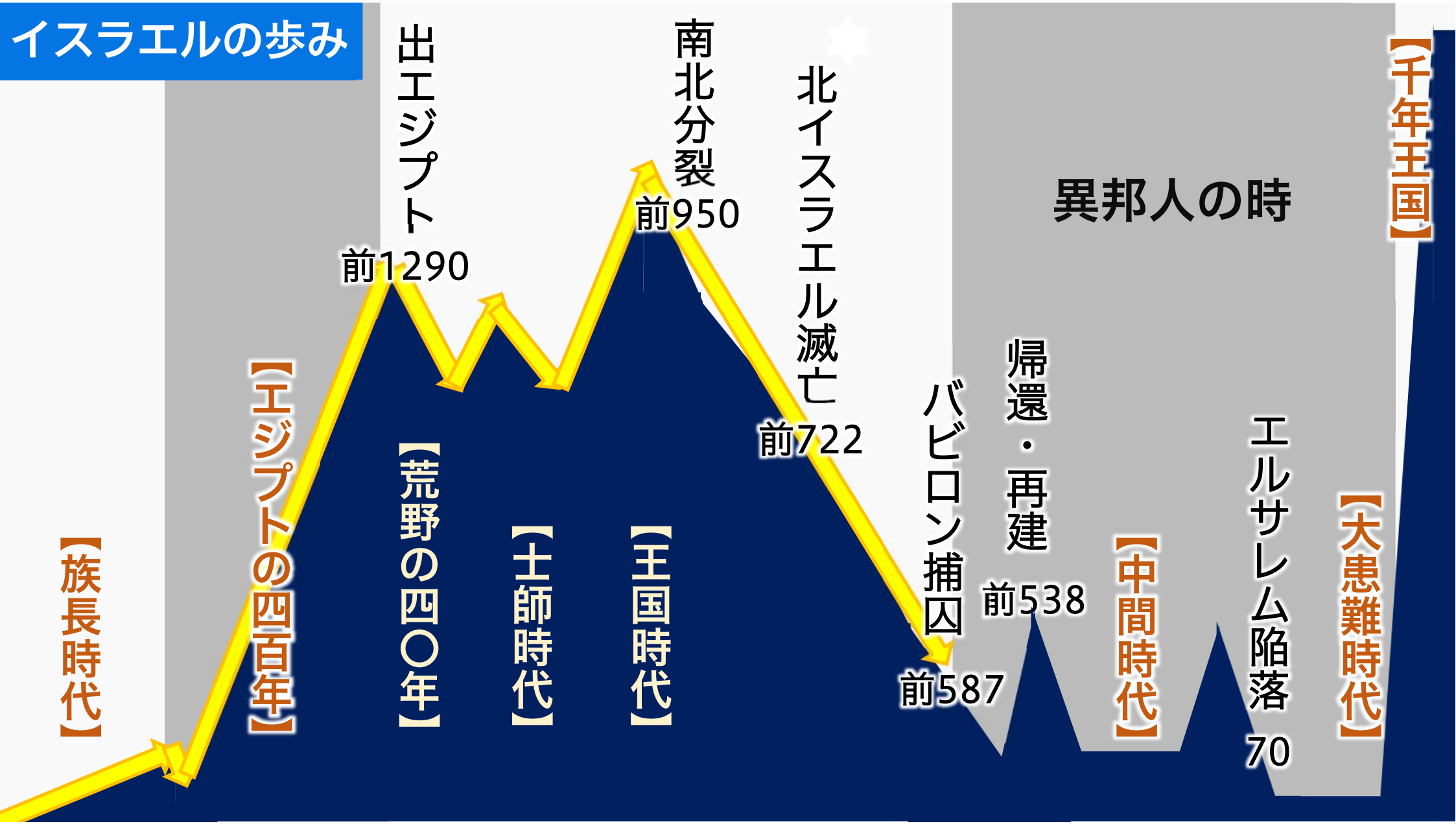


ソロモン時代の神殿・再現図



0. イントロダクション

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

南北分裂
前950

北イスラエル滅亡
前722

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

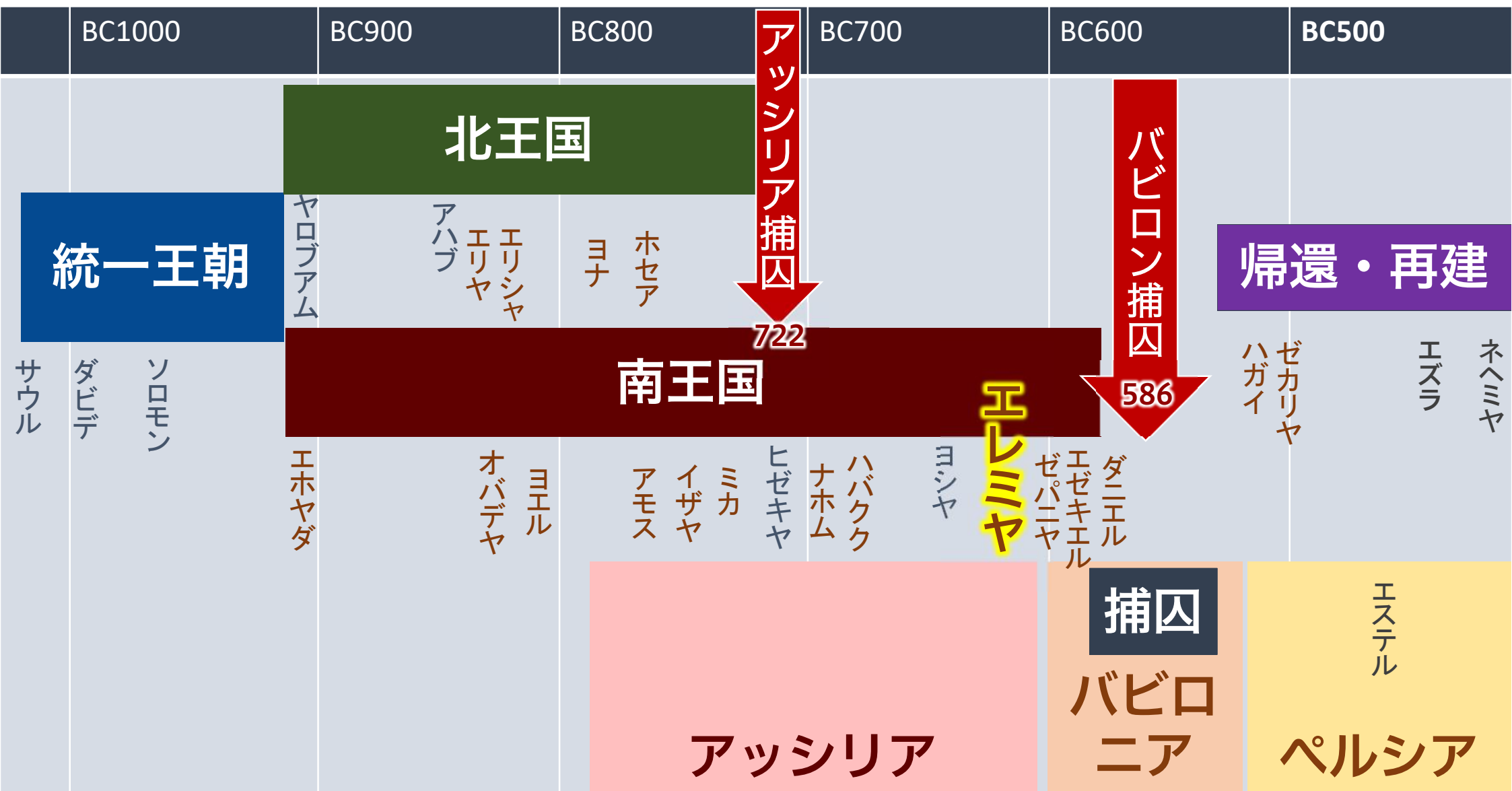
【中間時代】

エルサレム陥落
70

【大患難時代】

【千年王国】

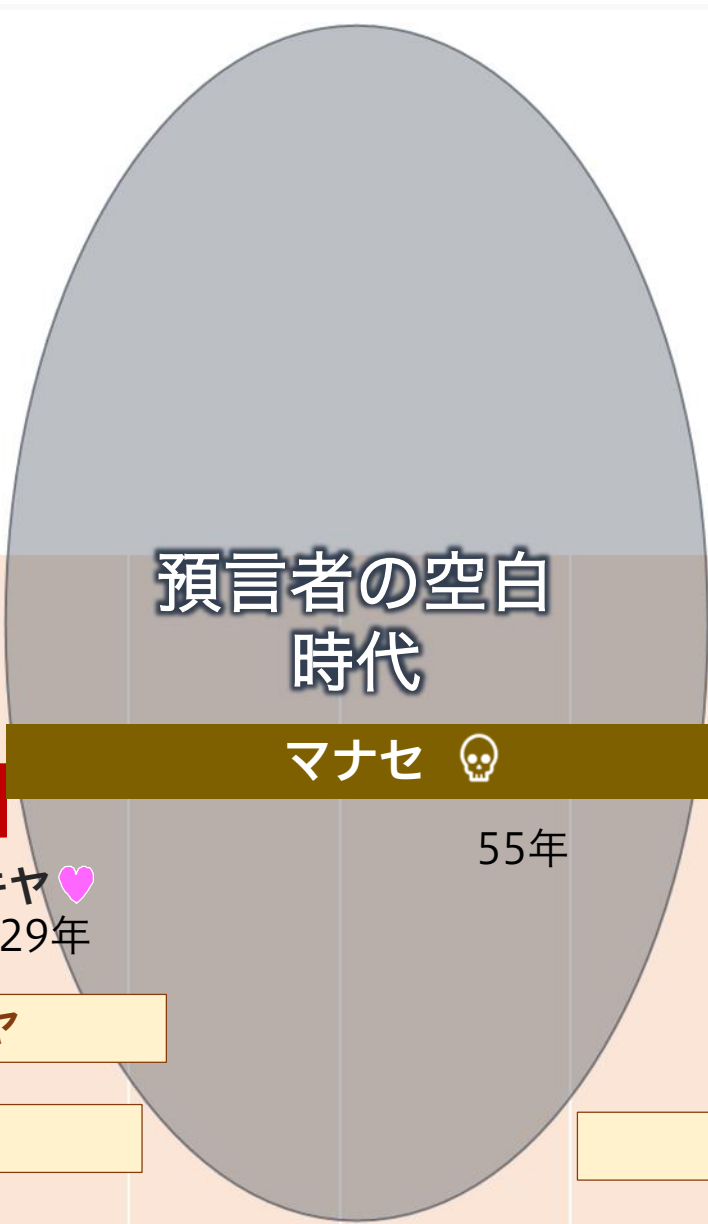
イスラエル王国史



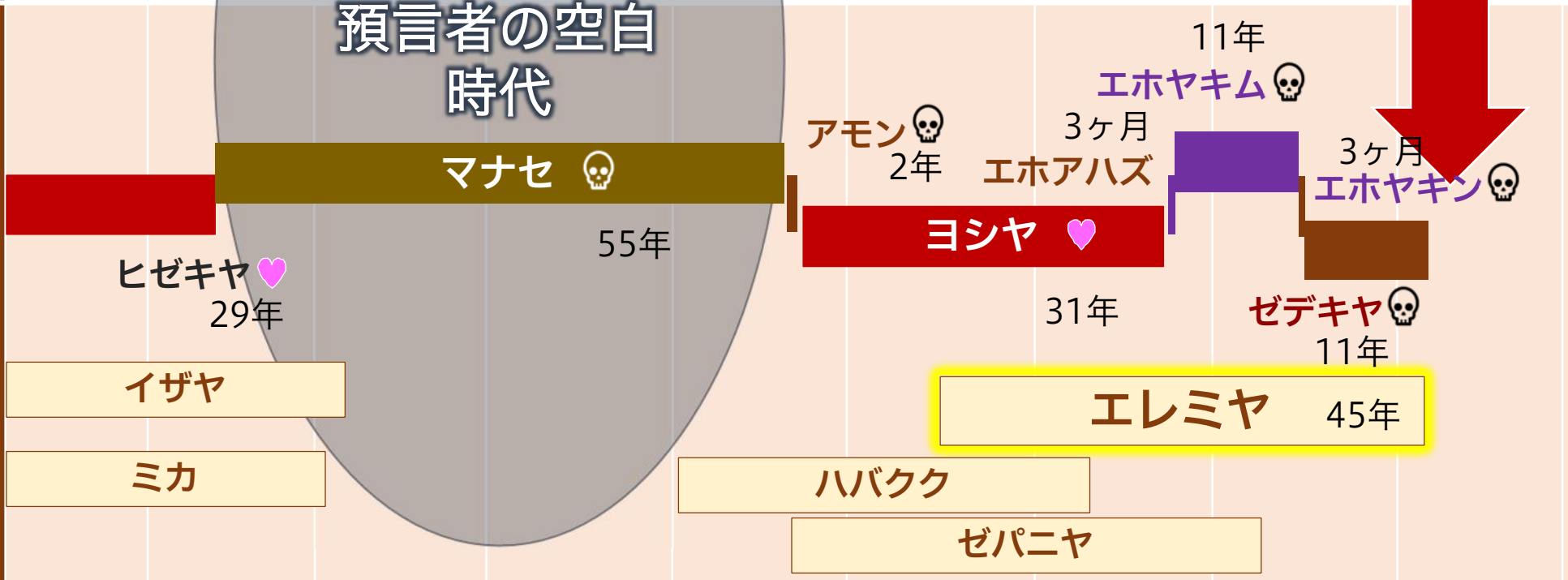
北王国
イスラエル

アッシリア捕囚
BC722年

南王国
ユダ



バビロン捕囚



エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

エレミヤが召命された時代

- 最悪の王マナセの暴虐の結果、荒れ果てていた南王国。
- 次代のヨシヤは、最後の善王。宗教改革を実施。
→ 南王国の滅亡は確定。覆すことはできない。
- ヨシヤ王の死後は、めまぐるしく王が入れ替わり、ついにバビロニアの侵略、滅亡 → **バビロン捕囚**

避けがたい神の裁きを伝えることが、エレミヤの使命



I. 強盗の巢なる神殿

エレミヤ7:1~15

ソロモン時代の神殿・再現図

喚起 礼拝者へ エレミヤ7:1～2

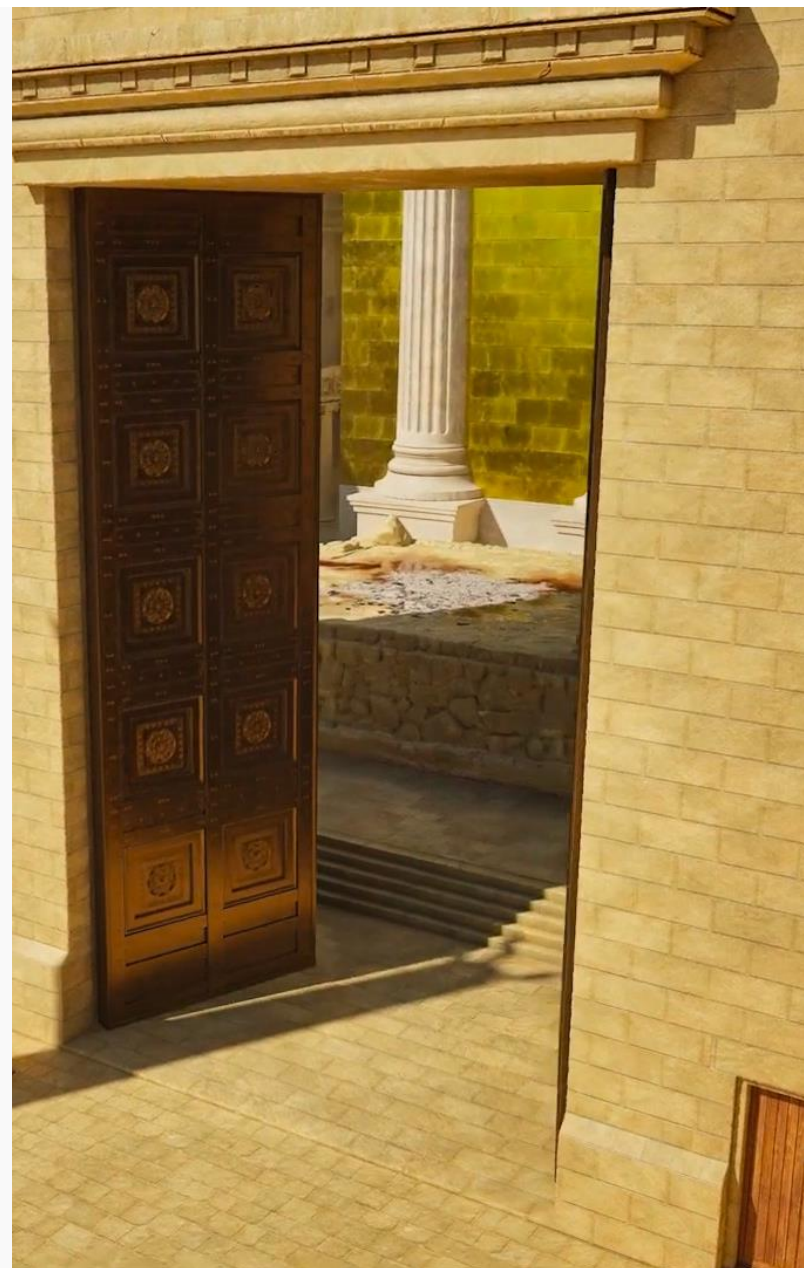
【主】からエレミヤにあったことばは、次のとおりである。

「【主】の宮の門に立ち、そこでこのことばを叫べ。『【主】を礼拝するために、これらの門に入るすべてのユダの人々よ*、【主】のことばを聞け。』」

■ 26章(エホヤキム王)にも同様の呼びかけ

■ 主の呼びかけの対象は、

➡ 礼拝のために神殿に上る者たち*



喚起 悔い改めよ エレミヤ7:3~4

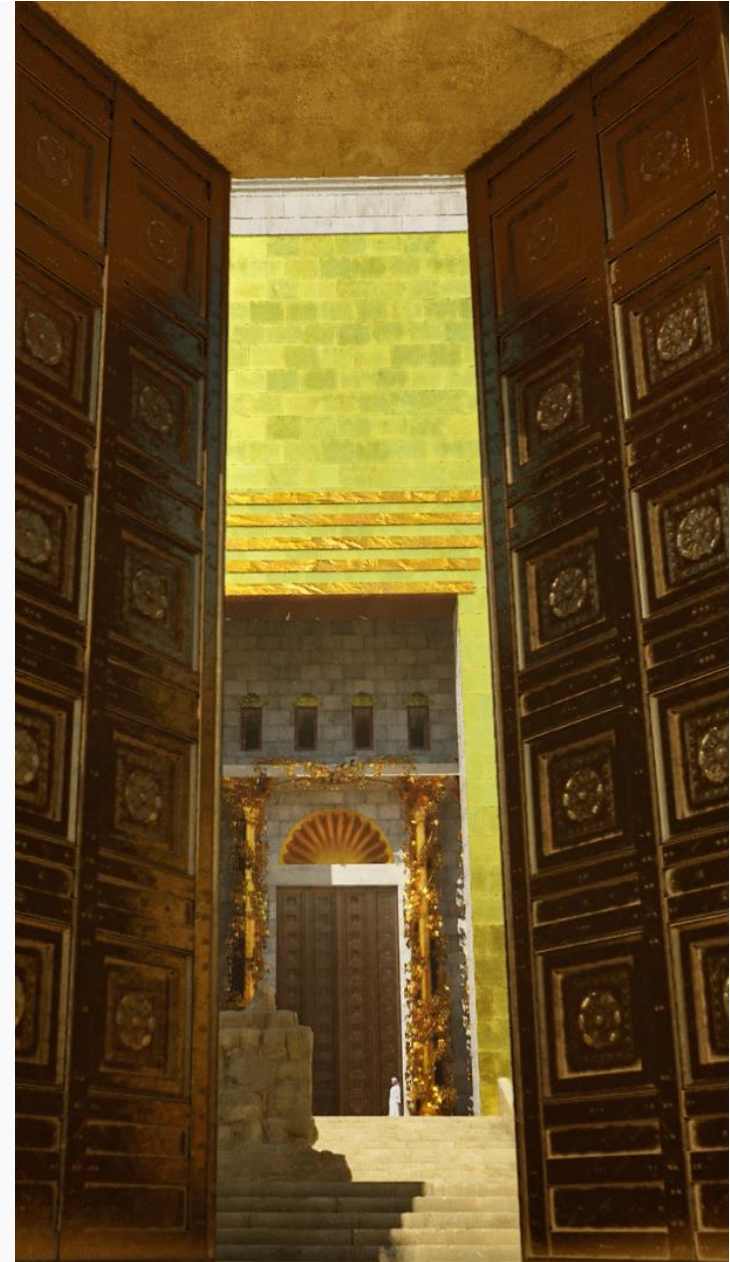
イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。あなたがたの生き方と行いを改めよ*。そうすれば、わたしはあなたがたをこの場所に住まわせる。あなたがたは、「これは【主】の宮、【主】の宮、【主】の宮だ*」という偽りのことばに信頼してはならない。

*主が問われるのは、礼拝者の信仰の本質

➡生き方、行い。信仰の実はあるか？

悔い改めは、実を求める。

*場所は、信仰の保証にはならない。



喚起 主の約束 エレミヤ7:5~7

もし、本当に、あなたがたが生き方と行いを改め、あなたがたの間で公正を行い、寄留者、孤児、やもめを虐げず、咎なき者の血をこの場所で流さず、ほかの神々に従って* 自分の身にわざわいを招くようなことをしなければ*、わたしはこの場所、わたしがあなたがたの先祖に与えたこの地に、とこしえからとこしえまで、あなたがたを住まわせる。

*主が禁ずることは、律法に明示。

…不公正、弱者の虐待、義人の迫害、偶像礼拝。

*わざわいを招くことを、散々、重ねてきた。



告発 偽善と背教 エレミヤ7:8~9

見よ、あなたがたは、役に立たない偽りのことば*を頼りにしている。

あなたがたは盗み、人を殺し、姦淫し、偽って誓い、バアルに犠牲を供え、あなたがたの知らなかったほかの神々に従っている*。

*実を伴わない信仰は、無意味。

*ことごとく律法を破り、罪を重ねている



告発 偽りの信仰 エレミヤ7:10~11

そして、わたしの名がつけられているこの宮の、わたしの前にやって来て立ち、「私たちは救われている」と言うが、それは、これらすべての忌み嫌うべきことをするためか。

わたしの名がつけられているこの家は、あなたがたの目に**強盗の巣***と見えたのか。見よ、このわたしもそう見ていた—【主】のことば—。

■主イエスの警告 マタ 21:13

「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『**強盗の巣***』にしている。」



告発 民の拒絶 エレミヤ7:12～13

だが、シロ*にあったわたしの住まい、先にわたしの名を住まわせた場所へ行って、わたしの民イスラエルの悪のゆえに、そこでわたしがしたことを見てみよ。

今、あなたがたは、これらのことをみな行い—【主】のことば—わたしがあなたがたに、絶えずしきりに語りかけたのに、あなたがたは聞こうともせず*、わたしが呼んだのに、答えもしなかった*ので、

*サムエル時代に幕屋が。BC1050に破壊。

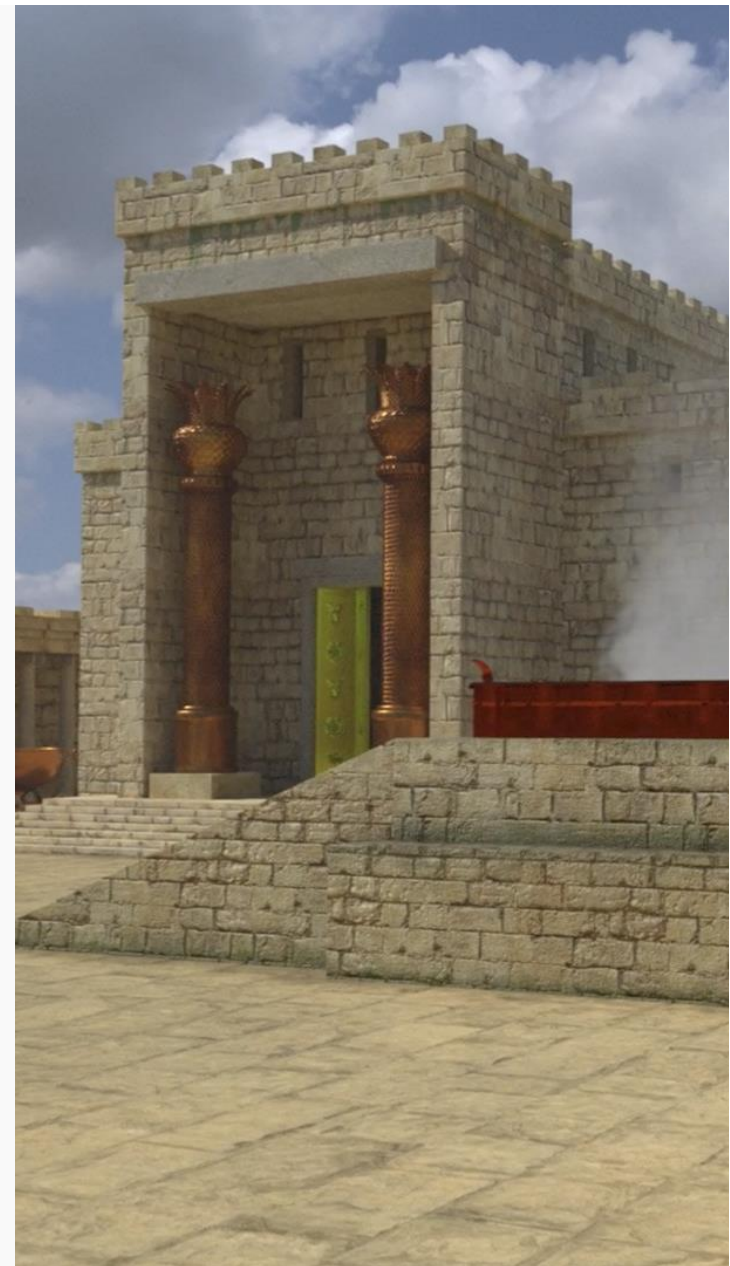
*猶予期間を守れなかった →裁きが下る



告発 神の裁き エレミヤ7:14

わたしの名がつけられているこの家*、あなたがたが頼みとするこの家*、また、わたしが、あなたがたと、あなたがたの先祖に与えたこの場所*に対して、わたしはシロにしたのと同様のことを行う。

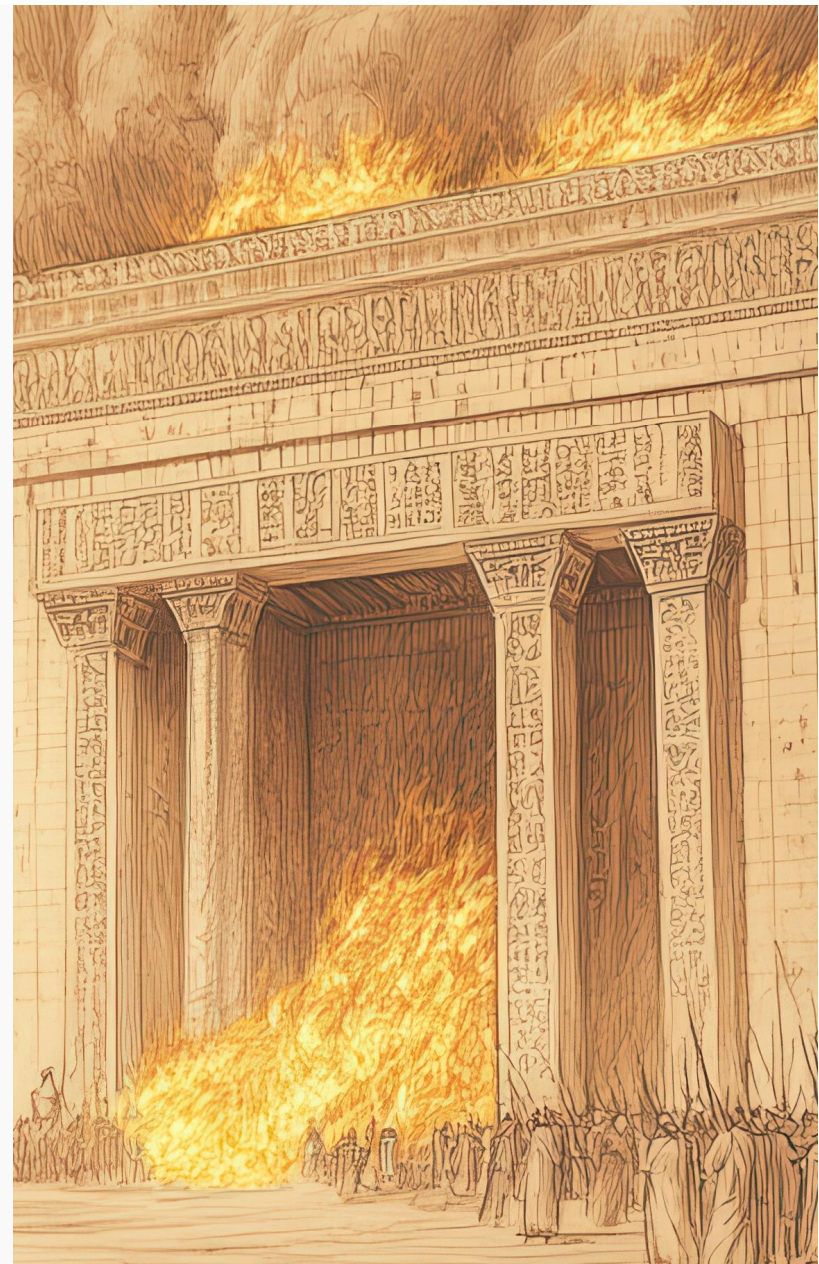
*エルサレムも、異国に滅ぼされ、捕囚に。



告発 アッシリア捕囚 エレミヤ7:15

わたしは、かつて、あなたがたのすべての兄弟、エフライムのすべての子孫を追い払った*ように、あなたがたをわたしの前から追い払う。』

*北王国・イスラエル十部族は、アッシリアによって滅ぼされ、捕囚された。





II. 怒りを招く天の女王

エレミヤ7:16～34

イスラエルの丘

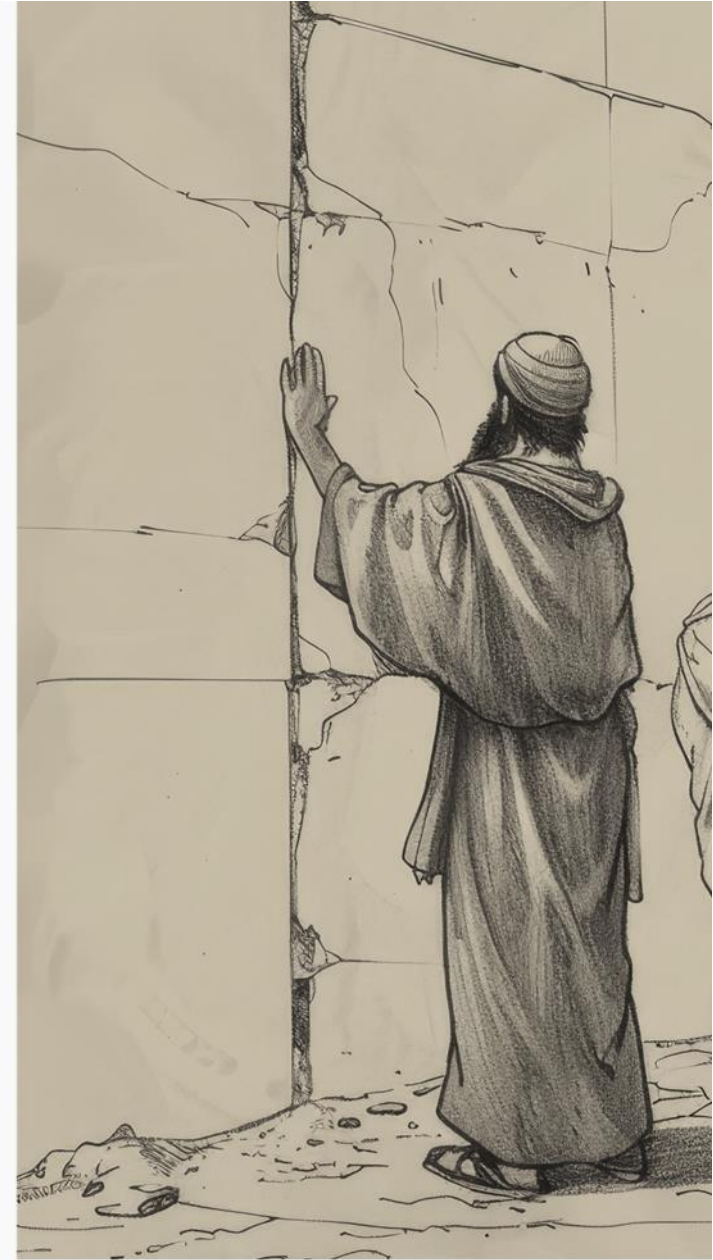
宣告 とりなしの禁止 エレミヤ7:16~17

あなたは、この民のために祈ってはならない。彼らのために叫んだり、祈りをささげたりしてはならない。わたしにとりなしをしてはならない*。わたしはあなたの願いを聞かないからだ。彼らがユダの町々や、エルサレムの通りで何をしているのか、あなたは見ていないのか。

*とりなしは本来、預言者の重要な役目だが…

■エルサレムへの裁きは確定。覆せない。

とりなしもできないエレミヤの思いは…



宣告 天の女王 エレミヤ7:18

子どもたちは薪を集め、父たちは火をたき、女たちは麦粉をこねて『天の女王*』のための供えのパン菓子を作り、また、ほかの神々に注ぎのぶどう酒を注いで、わたしの怒りを引き起こそうとしている。

わたしの怒りを彼らが引き起こしているというのか—
【主】のことば—。むしろ、自分たちを怒らせ、自分たちの恥をさらすことになっているのではないか。」

*エレミヤのみ …女神崇拝は世界共通。背後に悪魔。
アシラ(バアルの妻)、アシタロテ、イシュタル…

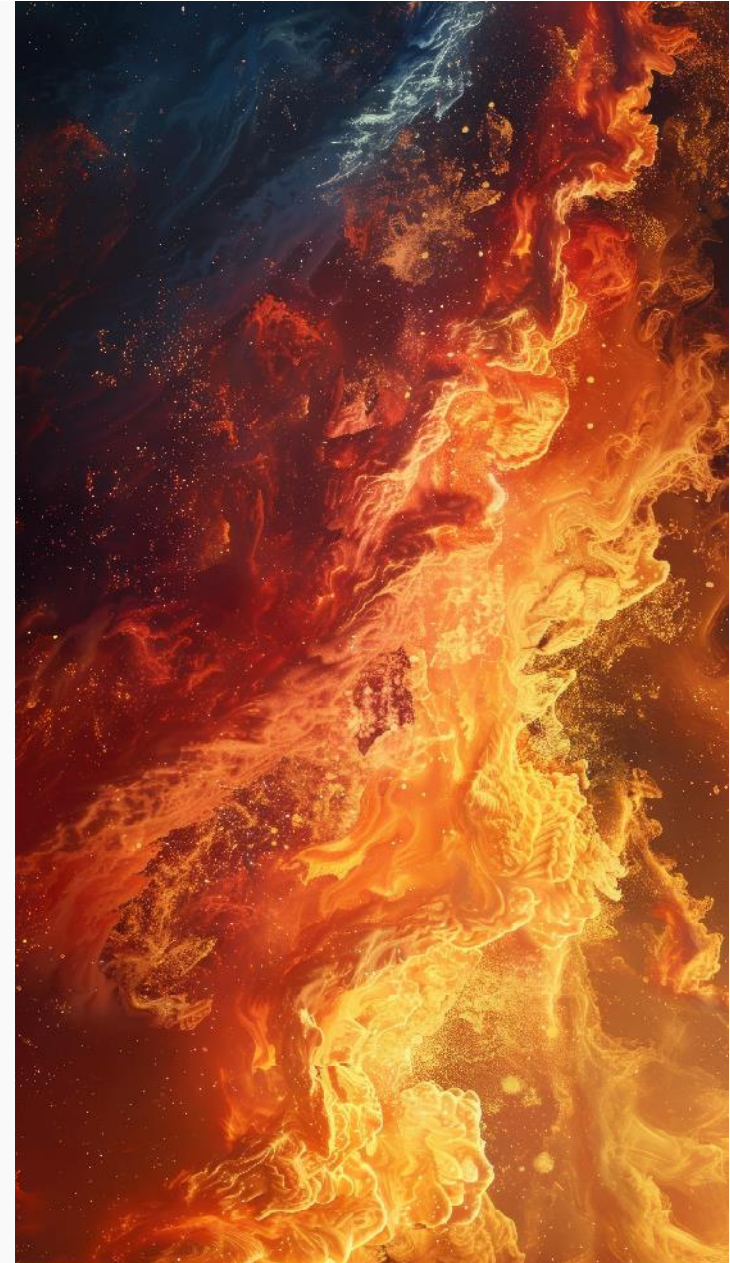


宣告 神の怒り エレミヤ7:20~21

それゆえ、【神】である主はこう言われる。
「見よ。わたしの怒りと憤りは、この場所に、
人と家畜、畑の木と地の産物に注がれ、それ
は燃えて、消えることがない。」

イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われ
る。「あなたがたの全焼のささげ物を、いけ
にえに加え、その肉を食べよ*。」

*和解のいけにえ(レビ3章他)



宣告 神の民の恵み エレミヤ7:22~23

わたしは、あなたがたの先祖をエジプトの地から導き出したとき、彼らに全焼のささげ物や、いけにえについては何も語らず、命じもしなかった*。

ただ、次のことを彼らに命じて言った。『わたしの声に聞き従え。そうすれば、わたしはあなたがたの神となり、あなたがたはわたしの民となる*。あなたがたが幸せになるために、わたしが命じるすべての道に歩め。』

*出エジプトは無条件。➡シナイ山で律法が!!

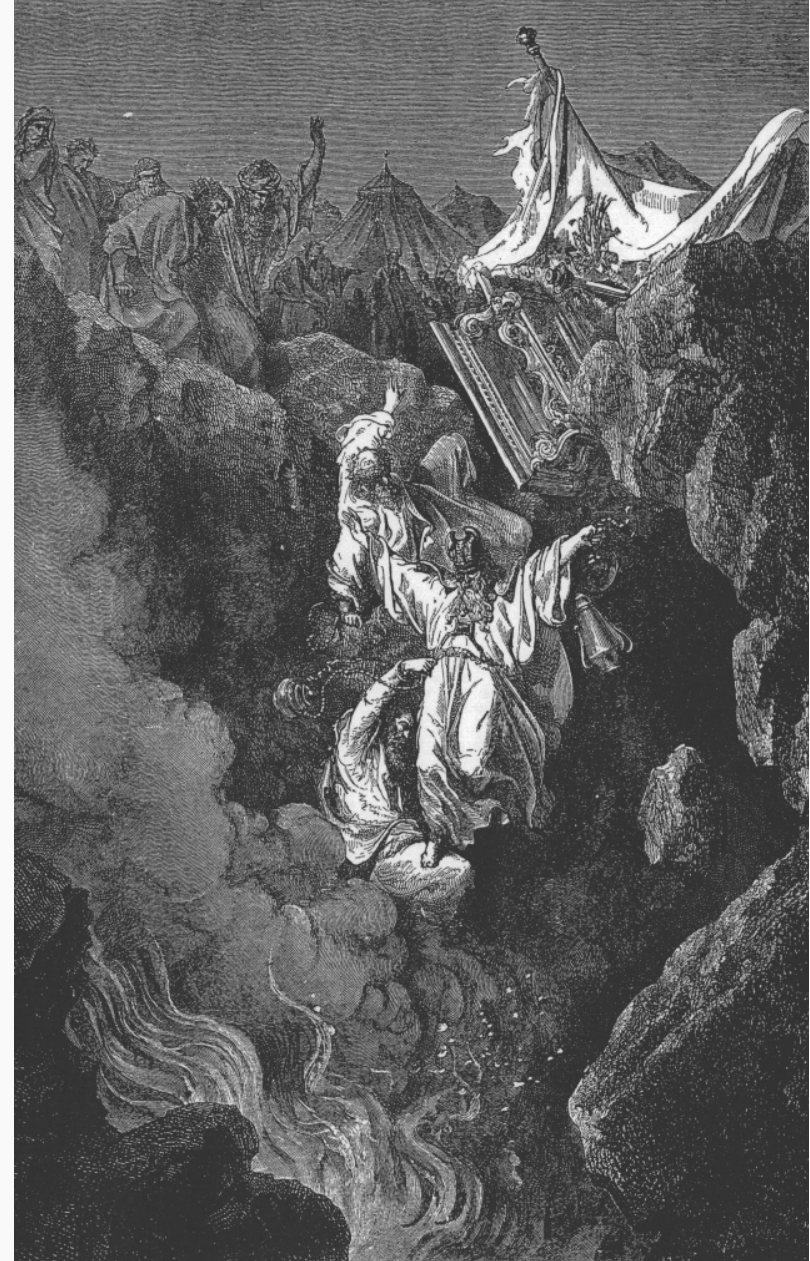
*モーセの召命時の命令。



宣告 民の罪 エレミヤ7:24

しかし、彼らは聞かず、耳を傾けず、頑なで悪い心のはかりごとによって歩み、前進どころか後退した。

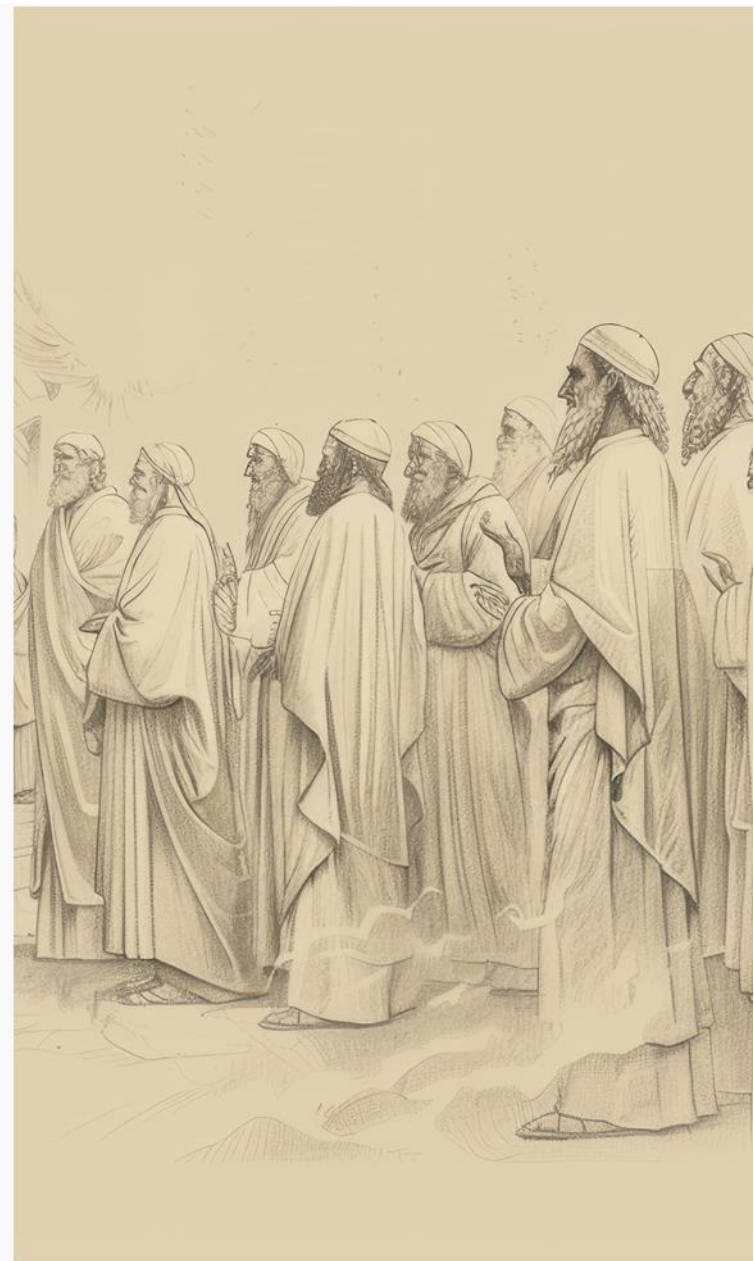
- イスラエルは、度重なる罪の結果、約束の地を目前に、決定的な背信に!!
(カデシュ・バルネア事件)
➔ その世代が果てるまで、荒野を放浪



宣告 預言者たち エレミヤ7:25～26

あなたがたの先祖がエジプトの地を出た日から今日まで、わたしはあなたがたに、わたしのしもべであるすべての預言者たち*を早くからたびたび遣わしたが、彼らはわたしに聞かず、耳を傾けもせず、うなじを固くする者となり、先祖たちよりも悪くなった。

*モーセを筆頭に、多くの預言者が…、
特に南北分裂以降、大勢が遣わされた。



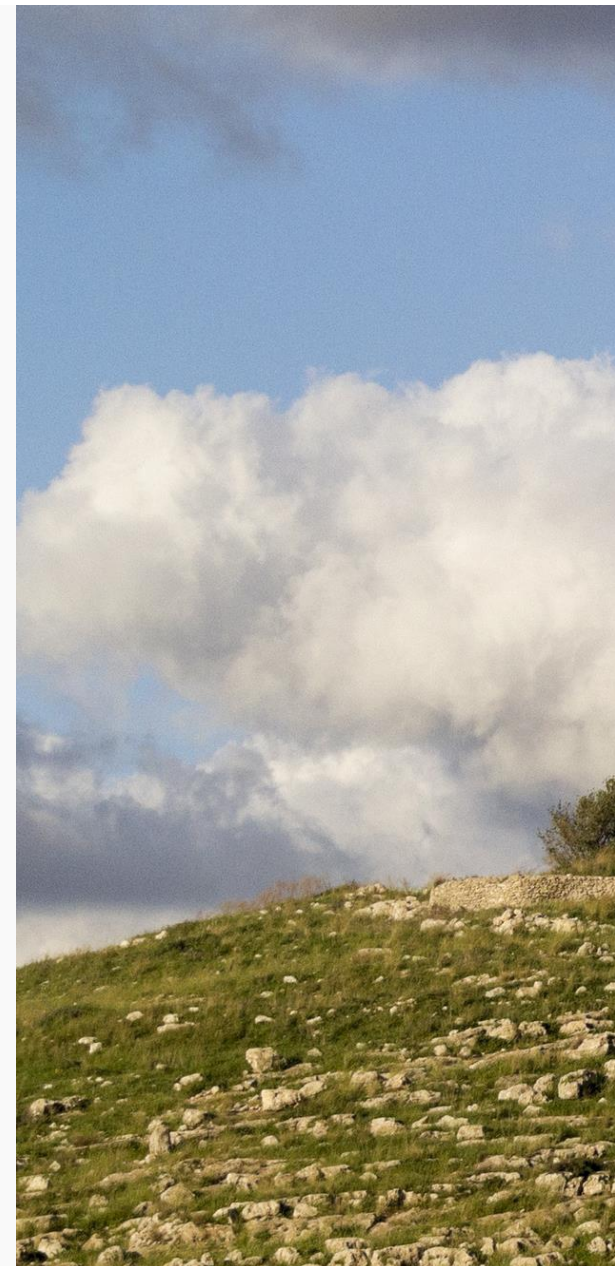
宣告 哀歌を歌え エレミヤ7:27

あなたが彼らにこれらのことをすべて語っても、彼らはあなたに聞かず、彼らを呼んでも、彼らはあなたに答えない。

そこであなたは彼らに言え。この民は、自分の神、【主】の声を聞かず、懲らしめを受け入れなかった民だ。真実は消え失せ、彼らの口から断たれた。

『あなたの長い髪を切り捨て、裸の丘*の上で哀歌を歌え。【主】が、御怒りを引き起こした世代を退け、捨てられたからだ。』

*高き所。偶像礼拝の場所に。



裁決 最悪の罪 エレミヤ7:30~31

それは、ユダの子らが、わたしの目に悪であることを行ったからだ—【主】のことば—。彼らは、わたしの名がつけられているこの宮に忌まわしいものを置いて、これを汚した。

また自分の息子、娘を火で焼くために、ベン・ヒノムの谷*にあるトフェトに高き所を築いたが、これは、わたしが命じたこともなく、思いつきもしなかったことだ。

*都の南西の谷 ➡ゲヘナの語源

■ 神殿に偶像。人身供養。マナセの最悪の罪



裁決 虐殺の谷 エレミヤ7:32

それゆえ、見よ、その時代が来る—【主】のことば—。そのとき、もはやそこは、トフェトとかベン・ヒノムの谷と呼ばれない。ただ**虐殺の谷***と呼ばれる。人々はトフェトに、隙間がないほどに葬る。

*エレミヤのみ …12:3、19:6

- 繰り返されていく、エルサレムでの虐殺
 - ➔バビロン捕囚 ➔ローマによる陥落
 - ➔大艱難時代・反キリスト



究極の裁きは
大艱難時代に!!

裁決 廃墟となる都 エレミヤ7:33~34

この民の屍は、空の鳥や地の獣の餌食となるが、これを追い払う者もない。

わたしは、ユダの町々とエルサレムの通りから、楽しみの声と喜びの声、花婿の声と花嫁の声を絶えさせる。この地が廃墟となるからである。」

■ 栄華を誇った都は、破壊し尽くされる

➔ 繁栄する都で、エレミヤが告げたこと





Ⅲ. まとめと適用

主の恵みのあるうちに

エレミヤの告発 と メシアの宮きよめ

「わたしの名がつけられているこの家は、あなたがたの目に**強盗の巣**と見えたのか。見よ、このわたしもそう見ていた—【主】のことば—。エレミヤ7:11」

「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『**強盗の巣**』にしている。マタイ21:13」

■バビロン捕囚、ローマによる陥落、それ以前に、神殿は、**「強盗の巣」**と化していた。

大艱難時代における 「強盗の巣」

- 艱難期には再建されている神殿(第三神殿)は、中間期に、反キリストによって荒廃。 →最悪の「強盗の巣」に!!

「彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物をやめさせる。忌まわしいものの翼の上に、荒らす者が現れる。そしてついには、定められた破滅が、荒らす者の上に降りかかる。ダニエル9:27」

- 艱難期後半、最後の災いが下り、メシアが再臨。栄光のメシアが、すべての罪人と悪を裁き、世界をきよめる。

「天の女王」とは？

- 当時の中東でも、様々な女神が崇められていた。
アシラ、アシュタロテ、イシュタル…
- 使徒たちの時代には、アルテミス、アテナ…
- 中世の欧州では、イエスの母マリアを無謬の仲介者に
→ 欧州に根強くあった女神信仰を取り込んだ
- イエス・キリストの父なる神に真っ向から対峙し、拒絶

背後に働くのは、サタン

現代における 「天の女王」

■ 女性性、母性の極端な強調。権威、秩序への強い反発。

…フェミニズム、反家父長制、LGBTQ解放運動、etc

→ 「父なる神」、キリスト教への強い反発

行き過ぎた主義主張は、一種の信仰!!

■ スピリチュアル(精神世界)で強調され、信奉されるのも、すべてを受容し、包容する、女性的、母性的な神、女神。

→ 受容が強調される多神教の日本は、極めて母性的

教会に無意識に浸透する「天の女王」

- 強調される、「愛、自由、平等、解放、受容、楽しさ」
軽視される、「義、裁き、法、権威、恐れ、従順、苦難」
- 「やりたいことだけやればいい?」「なんでもゆるしなさい?」
→ 自立を阻害し、依存させ、結果的に支配
- 自立と成長、真の自由の獲得に欠かせない、父性性。
→ 約束を守る、主に従い挑戦する → 自立した信仰の成長!!
例) 信仰者として派遣されて成長するこどもたち

罪と罰 赦しと刈り取り

- 「主の神殿」、神の都は何があっても、何をしてても守られる？
クリスチャンは何をやってもゆるされる？
- 罪には罰があり、悔い改めの機会を見過ごせば、裁きがある。
悔い改めれば赦されるが、刈り取り、報いも避けられない。

「あなたがたの生き方と行いを改めよ。そうすれば、わたしはあなたがたをこの場所に住まわせる。エレミヤ7:3」

救われた者、悔い改めた者は、結果としての実を求められる

★ 主の恵みのあるうちに ★

- 神の寛容をはき違え、悔い改めの機会を逃し、裁きが確定。
神の都ですら免れない神の裁き。地に注がれた神の怒りがある。
- 悔い改めるに時がある。主イエスは裁き主として再臨される。
携拳(空中再臨)は、いつ起こるか分からない。
- 恵みの内に生かされている、命ある間に主を信じること。
地上に置かれている限り、遣わされ、福音を宣べ伝えること。

恵みを味わい尽くし、使命に遣わされるのが、主イエスのこの道

てん とう
「天のお父さま。わたしの^{つみ}罪をゆるしてください

わたしは、神のみ^{かみ}子^こイエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪^{あがな}を^{じゅうじか}贖^しう^しのために十字架で死に、

②墓^{はか}に^{ほうむ}葬^むられ、

③三日目^{みっかめ}に^{ふっかつ}復活^{しん}した^{こと}、を信じます。

めぐ あま く あらた とき のが ほろ おも
恵みに甘んじ、悔い改めの時を逃し、滅んだエルサレムを思います。

すく く あらた しゅ さだ とき
救われるにも、悔い改めにも、主が定めた時があります。

めぐ うち すく さいわ よろこ あじ つ
恵みの内に救われた、この幸いを喜び、味わい尽くします。

ふくいん かか しゅ しょうにん しゅ しめい つか
福音を掲げ、主イエスの証人として、主の使命に遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」